

## 岡山県高梁市と相互応援協定を締結

三好市は、岡山県高梁市と危機事象発生時における相互応援協定を2月12日に締結しました。三好市では、これまで近隣市と同様の協定を結んできましたが、今回遠隔地の自治体と初めて協定を締結しました。今協定では、地震や風水害などの甚大な災害が発生し、被災自治体が独自では十分な応急措置が実施できない場合において、自治体相互が人的・物的両面に渡る支援を行うことで、災害応急対策および災害復旧対策を円滑に遂行できるようにすることを目的としています。



## 高齢者見守りで市と徳新販売所が協定

三好市内を配達区域とする徳島新聞の5専売所と三好市が2月6日、高齢者が安心して地域で暮らす支えとなるよう「高齢者見守り活動に関する協定」を締結しました。協定では、市内の配達員が、配達時に新聞や郵便物が何日もたまっているなど異変に気づいた場合、市に連絡。状況に応じて消防や警察に通報し、高齢者の孤立など被害防止に努めます。締結後、三野専売所長からは「今後とも地域福祉の向上に尽力したい」と話され、高齢者に優しいまちづくりの推進に向け、連携の強化が図られました。

## 行財政改革 答申書を提出



第5次行財政改革推進委員会は、平成25年1月から9回にわたる委員会を開催し、三好市の健全な行財政の確立と持続可能で自立できる自治体を目指して幅広い意見交換と検討を重ねてきました。このほど、協議テーマごとに審議された意見や提言を取りまとめた答申書が、2月28日に市長に提出されました。今後策定される第3期集中改革プランにこの意見が反映され、スピード感を持って、早期に実行できるよう要望されています。

## 徳島線全線開通から100年



徳島線全線開通100周年イベントキックオフセレモニーが2月22日、JR阿波池田駅で開催されました。3月25日にJR徳島線（徳島駅-阿波池田駅間）が全線開通100周年を迎えるのを前に、地域のにぎわう四国酒まつりの日にあわせて開かれたもので、式典では尾本保育園児が歌や踊りを披露したほか、鏡割りなどが行われました。徳島線は1899年に徳島-鴨島間で開業。その後1914年3月25日、川田-阿波池田間が開通し、全線開通となりました。

## 貝びなをつくりましょう



三好市中央公民館で、2月6日、婦人団体連合会池田地区の会員らが、はまぐりの貝殻に布やリボンを貼りつけながら作る「貝びな」づくりに挑戦しました。会員間の親睦を深めることを目的に年1回の研修として企画されたもので、この日は黒木公子さん（池田町マチ）を講師に、36人の参加のもと、たくさんの貝びなが完成しました。作られた貝びなは、四国酒まつり会場の一画に展示され、訪れた人びとの心を和ませていました。

## 四国のお酒が三好市に集結

新酒ができあがる時季にあわせて毎年開催されている「四国酒まつり」が2月22日に開かれ、県内外から訪れた多くの日本酒ファンらでにぎわいました。市中央公民館では、四国から厳選した39銘柄の地酒試飲会が行われ、来場者はグラスを片手に各銘柄を飲み比べ、味の違いを楽しんでいました。また、酒まつりにあわせて地元の今小町・三芳菊・芳水の酒蔵も開放され、日頃なかなか見られない酒蔵内部を見学したり、搾りたての新酒の味を堪能していました。



## うだつの町並みでお買い物

第10回うだつマルシェが2月22日、池田町の本町通り周辺で開催され、市内外から約100店舗が出店し、手作りの食品や雑貨などを販売しました。酒まつりと同日開催となったこの日は、マルシェ名物の「うだつちんどん」が通りを練り歩き雰囲気を盛り上げたほか、スタンプラリーやワークショップ、勘緑さんらによる「三番叟」の披露などもあり、ほろ酔い気分の大人から小さな子どもまで楽しめるマルシェに、会場は終日にぎわいました。



## 夢をあきらめないで 細田選手が子どもたちにエール

三好市スポーツ少年団の平成25年度日本スポーツ少年団顕彰受賞を記念し2月23日、トライアスロンでロンドン五輪に出場した細田雄一さんを講師に迎え、池田総合体育館で講演会が開催されました。講演の中で「オリンピック出場をあきらめそうになったことは」との質問に「何度もあきらめそうになったけど、そのたびに周りが助けてくれた。やってきたトレーニング以上のことはできないので練習の時に本番を意識することが大切。今取り組んでいることを続けていけば将来につながります」と語られ、自身の経験を踏まえたメッセージに参加者は熱心に耳を傾けていました。

